

切花・鉢花の4月の見通し

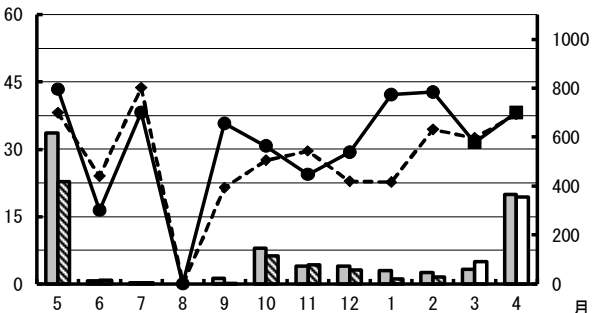
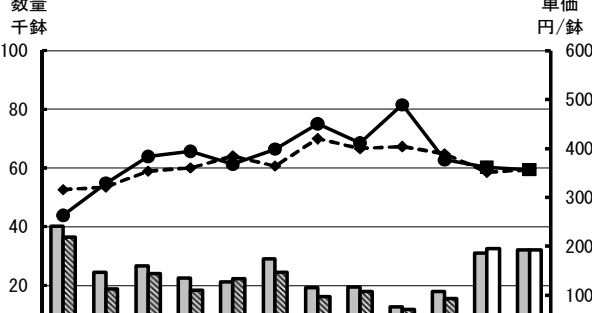
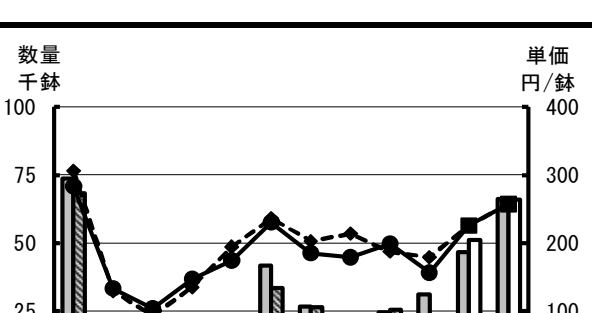
切花（愛知名港花き地方卸売市場 3月31日現在）

単位：千本、円／本

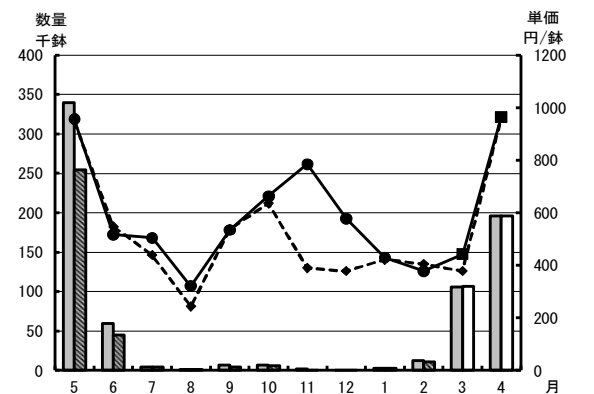
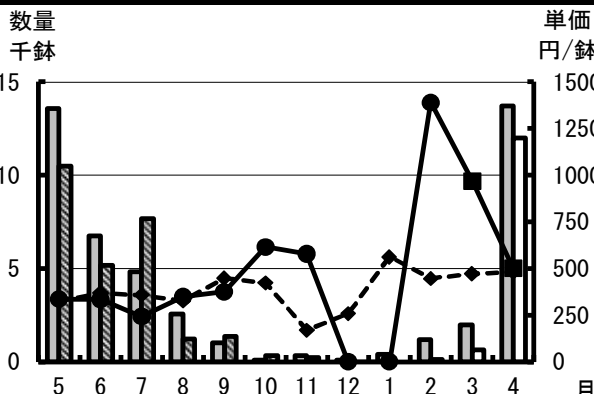
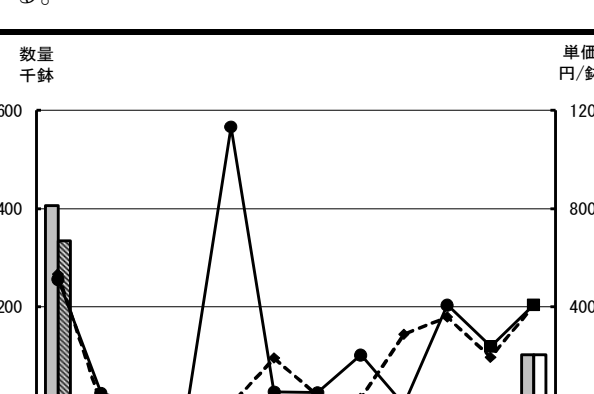
品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	2020年	1, 1 7 9	2 7	
		2021年	1, 2 6 1	3 3	
		2022年	1, 0 6 6	5 9	
		2023年	9 5 6	5 6	
		2024年	1, 0 8 4	4 4	
	5ヵ年平均	1, 1 0 9	4 3		
	2025年見通し	1, 0 0 0	4 0		
概要	愛知中心の入荷。上旬は入荷量少なめ、中旬からは入荷量が増えてくる見込み。下旬からはGW、母の日参りの需要が期待される。				
小 ぎ	実績	2020年	8 2 4	2 1	
		2021年	9 2 4	2 3	
		2022年	8 5 6	3 4	
		2023年	8 0 0	3 0	
		2024年	6 2 2	3 2	
	5ヵ年平均	8 0 5	2 8		
	2025年見通し	6 5 0	3 0		
概要	沖縄からの入荷。上旬から中旬にかけて入荷量は少ない見込み。下旬からはGW、母の日参りの需要が期待される。				
カー ネー シ ョ ン	実績	2020年	9 9 6	3 2	
		2021年	1, 1 6 6	5 4	
		2022年	1, 2 7 2	6 2	
		2023年	1, 0 5 6	5 1	
		2024年	1, 0 7 7	4 6	
	5ヵ年平均	1, 1 1 3	5 0		
	2025年見通し	1, 1 0 0	4 5		
概要	愛知中心の入荷。3月後半の暖かさもあり、上旬は潤沢な入荷予想。後半4週目頃からは母の日を意識した販売になる見込み。				
か す み そ う	実績	2020年	1 6 1	5 5	
		2021年	2 0 2	6 9	
		2022年	2 1 5	8 5	
		2023年	1 5 2	9 1	
		2024年	1 8 2	7 0	
	5ヵ年平均	1 8 2	7 4		
	2025年見通し	1 8 0	7 0		
概要	和歌山、高知、熊本からの入荷となる。3月に出荷の谷となった和歌山県産が増えてくる見込み。大きな需要はないため、相場は弱含みが予想される。				

単位：千本、円／本

品目		区分	実績等	入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
ゆり	実績	2020年		2 3 1	1 2 3	
		2021年		2 5 8	1 6 0	
		2022年		2 3 0	1 7 3	
		2023年		2 2 6	1 7 3	
		2024年		2 1 3	1 9 0	
	5ヵ年平均			2 3 2	1 6 3	
	2025年見通し			2 1 0	1 9 0	
概要	オリエンタルは高知、宮崎、埼玉からの入荷。中旬は年末の返しとなる分が出荷され、数量は多くなる見込み。鉄砲は生産減少で、相場の大きな崩れはないと予想される。					
洋らん	実績	2020年		2 0 6	8 8	
		2021年		2 7 2	9 7	
		2022年		2 5 7	1 4 1	
		2023年		2 2 9	1 0 5	
		2024年		2 5 6	1 1 8	
	5ヵ年平均			2 4 4	1 1 1	
	2025年見通し			2 5 0	1 1 0	
概要	愛知、徳島、静岡、鹿児島等の国産品に加え、輸入品が入荷する。オンシジウムはこれから減少する見込み。デンファレはソニア中心で、アンナは減少し、シンピジウムは国産品が徐々に減少する見込み。コチョウランは国産、輸入とも増加傾向。カトレアも徐々に増加していく。					
ばら	実績	2020年		5 0 5	5 6	
		2021年		6 3 0	8 0	
		2022年		7 4 0	8 2	
		2023年		6 9 4	7 1	
		2024年		6 9 2	7 4	
	5ヵ年平均			6 5 2	7 3	
	2025年見通し			7 0 0	7 0	
概要	愛知、岐阜、三重、山形、長野から入荷。3月後半からの暖かさで上旬は潤沢な入荷となる。前半は軟調な販売が予想されるも、中旬以降品種の波はあるが前年並の入荷が予想される。					
枝もの	実績	2020年		8 3 5	4 9	
		2021年		1, 2 1 5	5 9	
		2022年		1, 2 6 2	6 5	
		2023年		1, 0 4 5	6 1	
		2024年		1, 0 9 0	6 5	
	5ヵ年平均			1, 0 8 9	6 0	
	2025年見通し			1, 0 0 0	6 0	
概要	中旬頃からドーダンが始まる。下旬には姫リョウブ等も始まり、初夏の雰囲気になる。新芽、新葉の時期になるため、枝物全般に若干入荷は少なめで推移する。					

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	2020年	3 6, 6 5 9	4 3 0	数量 千鉢 単価 円/鉢 
		2021年	2 2, 1 5 8	7 0 4	
		2022年	2 3, 5 2 0	7 5 5	
		2023年	1 5, 7 2 3	6 9 4	
		2024年	1 9, 9 9 7	6 9 3	
	5ヵ年平均	2 3, 6 1 1	6 2 6		
	2025年見通し	1 9, 4 5 0	7 0 0		
概要	入荷量は前年並か。5号鉢中心に中旬より徐々に入荷が増え始め、下旬以降に出荷のピークとなる。 例年通り花立の良いピンク・キイロ系に人気が集まり、母の日需要が高まる下旬より引き合いも強くなる見込み。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位長野（42.3%）、2位埼玉（24.7%）、3位新潟（11.0%）となっている。				
ファレノプシス	実績	2020年	4 6, 4 5 0	1, 9 3 2	数量 千鉢 単価 円/鉢 
		2021年	4 3, 6 2 1	3, 0 2 6	
		2022年	4 1, 9 4 0	2, 9 5 2	
		2023年	2 9, 6 8 2	3, 7 9 2	
		2024年	3 2, 1 1 0	3, 5 5 9	
	5ヵ年平均	3 8, 7 6 1	2, 9 5 4		
	2025年見通し	3 2, 0 0 0	3, 5 6 9		
概要	入荷量は前年並か。前年、大輪の相場が厳しかった影響で減少する見込みだが、ミディは前年並の見込み。 資材高騰の影響により、生産者からの出荷単価は若干上がる見込み。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（57.2%）、2位宮崎（8.1%）、3位熊本（5.6%）となっている。				
バラ及びミニバラ	実績	2020年	7 7, 1 1 8	2 0 4	数量 千鉢 単価 円/鉢 
		2021年	8 3, 5 9 3	2 5 8	
		2022年	8 3, 5 5 2	2 4 6	
		2023年	6 2, 4 1 5	2 2 2	
		2024年	6 6, 0 5 7	2 5 7	
	5ヵ年平均	7 4, 0 2 6	2 3 8		
	2025年見通し	6 6, 0 0 0	2 5 7		
概要	入荷量は概ね前年並か。生産流通コストの上昇で作付け減の傾向は変わらないが、4月からは小鉢主体に順調に入荷し、中値安定相場となる予想。 入荷量増加とともに価格は下がる見込み。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（49.2%）、2位岐阜（32.1%）、3位千葉（8.7%）となっている。				

単位：鉢、円／鉢

品目		区分	実績等	入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
ハイ ド ラ ン ジ ア	実績	2020年		2 2 3, 3 5 9	8 5 3	
		2021年		2 5 8, 7 2 8	9 3 9	
		2022年		2 6 0, 0 6 7	9 0 8	
		2023年		1 4 8, 1 1 9	8 2 9	
		2024年		1 9 6, 3 2 2	9 6 2	
	5ヵ年平均		2 1 7, 3 1 9	9 0 3		
	2025年見通し		1 9 6, 0 0 0	9 6 4		
概要	入荷量は前年並か。母の日が前年より早いので、4月下旬からの出荷も増える。天候による生産ロスや出荷遅れもあると思われるが、出荷ピークは4月末から5月初旬に変わりはしない。 5号サイズが入荷の中心だが、4号や4.5号サイズの生産が増産傾向である。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（57.1%）、2位群馬（11.4%）、3位埼玉（9.1%）となっている。					
ス パ テ ィ フ ィ ラ ム	実績	2020年		2 0, 6 6 1	3 6 5	
		2021年		1 7, 5 5 2	4 4 7	
		2022年		1 7, 0 0 7	4 9 1	
		2023年		1 2, 8 8 4	5 1 1	
		2024年		1 3, 7 0 9	4 8 1	
	5ヵ年平均		1 6, 3 6 3	4 5 1		
	2025年見通し		1 2, 0 0 0	5 0 0		
概要	入荷量は前年より減少する見込み。規格は3号から4号中心の入荷がメインとなる。資材・燃料費高騰など、生産環境が厳しくなっている。 気温によっては凍傷が懸念されるため4月上旬の気温次第では出荷を遅らせる可能性もある。生産数量が少ない中で需要期に対する開花調整も難しく、注文の比率が上がることで平均単価は前年並かやや上昇かと予想される。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重（41.3%）、2位静岡（31.4%）、3位愛知（14.7%）となっている。					
カ ー ネ ー シ ョ ン	実績	2020年		1 3 3, 0 4 1	3 4 9	
		2021年		1 4 4, 0 8 0	4 3 7	
		2022年		1 6 7, 5 1 8	4 9 6	
		2023年		5 3, 7 1 1	4 4 0	
		2024年		1 0 2, 5 4 5	4 0 5	
	5ヵ年平均		1 2 0, 5 1 9	4 2 8		
	2025年見通し		1 0 2, 0 0 0	4 0 7		
概要	入荷量は前年より減少する見込み。2月の寒波の影響で生育遅れ気味と思われるが、4月の天候が良ければ下旬頃よりまとまった出荷も始まる見込み。引き合いは前年に続き、弱含みでの見込み。 前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（42.2%）、2位群馬（20.7%）、3位埼玉（11.1%）となっている。					